

令和6年度より

国家公務員採用総合職試験に

人文系コース追加

① 大卒程度試験

「政治・国際区分」を「政治・国際・人文区分」に改編しました。
専門試験は、主に人文系科目で受験可能になります。

○多肢選択式 出題科目（55題出題40題解答）*

（新コース出題科目必須＋選択科目）35題解答

思想・哲学、歴史学、文学・芸術、
人文地理学・文化人類学、
心理学、教育学、社会学

（共通必須出題科目政治国際系科目）5題解答
政治学、国際関係、憲法

○記述式 出題科目（6題出題2題解答）*

思想・哲学、歴史学、文学・芸術

② 院卒者試験

院卒者試験の行政区分にも、
上記と同様の科目が選択できるコースが新設されました。*

※詳しい試験科目は、採用情報NAVIをご覧ください。
裏面に採用関係のウェブサイトを紹介しています。

国家公務員と一口でいっても、様々な府省庁があり、
それぞれ業務や担う役割が異なります。

まずは、次のページを見て、
人文系の学問を専攻していた先輩たちの声をきいてみてください！

人事院

○なぜ国家公務員になろうと思ったのですか？

自分の努力がより多くの人に還元されてほしいという漠然とした思いから公務員に興味を持ち、説明会等で様々な府省の人と話す中で、国家公務員が日本をより良い国にするために熱心に働いていることを実感し、志望しました。

○採用後、大学等で学んだ専門分野はどのように活かされていますか。

日々の業務では、大学で学んだ専門知識を直接使う場面はありませんが、大学時代の学びは間違いなく役に立っています。例えば、制度の解釈を考察するときには、膨大な資料から情報を取捨選択する必要があり、文学部で論文等を書く際に自分の論に必要な情報を見極めて参考資料を探し出して参照して...を繰り返した経験が活かされていると思います。

○現在どのような業務を行っていますか。

国家公務員の期末・勤勉手当（ボーナス）に関する施策の企画・立案等を担当しており、民間企業の給与実態を踏まえた手当額の改定や、手当制度に関する質問への対応、各府省の実態・要望に基づき法令改正の検討等を行っています。

氏名
宮下 香奈子

採用年度
令和2年度

試験区分
法律

現在の配属先
給与局給与第三課

大学の専攻分野
文学部 西洋美術史



○皆さんへのメッセージをお願いします。

人文系の学部ということで、法律等の知識が足りないのではないかといった不安があると思います。私は最初、法令の読み方も分からない状態でしたが、上司に助けていただきながら業務の中で慣れていきました。人文系学部からはきっとメジャーでない国家公務員の道に関心を持っている皆さんは、熱い志があるのではないのでしょうか。

私の個人的な考えですが、この仕事を目指すときに大切なのは、法律の知識があることよりも、柔軟な思考力を持ち、あるべき姿を求める気持ちではないかと思います。皆さんが国家公務員として活躍することを楽しみにしています！

総務省

○なぜ国家公務員になろうと思ったのですか？

日々、安心・安全な生活を送るためには、インフラ、社会福祉、教育など、様々な場面での行政サービスが必要です。その行政サービスの具体的な内容や、国や地方自治体などの行政サービスの提供先の在り方について徹底的に考えることができるのが国家公務員の魅力です。

国家公務員としてできることと自分が情熱を向けることができることを深掘りしていく中で、行政サービスの最前線である地方自治体を支えられる人間になりたいと考え、私は総務省を志望しました。

○皆さんへのメッセージをお願いします。

「自分の携わった仕事が、誰かの人生を守る1つの支えになってほしい。」それが、国家公務員を目指した理由です。このパンフレットをご覧になっている皆さんも、同じ気持ちを持っているのではないのでしょうか？

皆さんの経験は、国を良い方向に導く力になります。同じ志を持って国家公務員を目指す皆さんを応援しています！

氏名
山中 佑美

採用年度
平成29年度

試験区分
経済

現在の配属先（出向中）
内閣官房副長官補付

大学の専攻分野
文学部 英語英米文学



○現在どのような業務を行っていますか。

現在は内閣官房において、マイナンバーカードの普及促進や利活用場面の拡大などについて、官邸や関係省庁との間に入り、調整を行っています。今まさに世の中で必要とされている施策について、課題を探り出し、その解決に向けた取組を実施することにやりがいを感じます。

○採用後、大学等で学んだ専門分野はどのように活かされていますか。

国家公務員は幅広い視点やきめ細やかな感覚が必要になるため、多様な人材が求められており、私も文学部で学んだ知見を含め今までの経験をフル稼働して業務に取り組んでいます。

厚生労働省

○なぜ国家公務員になろうと思ったのですか？

東南アジアへの短期インターンや就職活動を通じて多様な価値観に触れ、色々な立場の人の暮らしを守りたいと思い、国家公務員を志しました。

○採用後、大学等で学んだ専門分野はどのように活かされていますか。

高校時代は数学と国語が好きで、悩んだ結果文学の道に進みました。大学の文学部で一般に扱う分野は、思想、言語、文化など幅広く、また人によっても答えが違うものですが、私が学んだ一番大事なことは、他者の考えに敬意を払うということです。

私の専攻は古典で、古来より様々な身分・立場の人が自ら考え筆を執り、幾世代の人の手を経て現代まで伝えられてきましたが、それらを研究するということは、自らの持てる知識と頭脳を以て全力で彼らに向き合うということだと思います。

国の政策というものも同じで、様々な立場の人の様々な意見がある中で、制度がどのようにして今の形になったのかをよく学び、時に現状を自分の目や耳で確かめ、真摯に向き合うことが行政官に求められているのではないのでしょうか。

氏名
本田 深青

採用年度
令和2年度

試験区分
法律

現在の配属先
年金局事業管理課

大学の専攻分野：
文学部 日本語日本文学



○現在どのような業務を行っていますか。

厚生労働省の年金局で、次の年金制度改正に向けた検討や、年金実務の効率化のための法令改正を行っています。

○皆さんへのメッセージをお願いします。

文学というと、実益がないとか言われがちですが、積み上げてきた思索はあまり人のことを裏切りません。

この度の試験区分拡大で、文学に向き合ってきた方々が霞が関の門戸を叩いてくれるのであれば、とても嬉しく思います。

国土交通省

○なぜ国家公務員になろうと思ったのですか？

在学中、授業での実地調査や海外留学などを通じて、新しい事業を社会で活かすための制度をつくることに興味を持ちました。また、出先機関や地方自治体、各国大使館など、本省以外にも活躍できるフィールドが多様であることも大きな魅力でした。この二つの理由から、職業人生が充実したものなることを期待して、国家公務員になることを決めました。

○国家公務員になるために努力したこと、心がけたことは何ですか。

説明会やインターンへの参加を通して色々な省庁の所管制度に触れることで、大学での専攻や元々持っていた関心事項の他に、どの分野の制度設計に自分の興味が強く向かうのかを見極めようと心がけました。また、日本の国際的なプレゼンスを高める仕事がしたいという思いから、試験勉強と併行して英語の勉強を続けていました。

氏名
島田 すみれ

採用年度
令和2年度

試験区分
法律

現在の配属先
都市局公園緑地・景観課

大学の専攻分野
人文・文化学群 文化地理学



○現在どのような業務を行っていますか。

都市公園や都市緑地に係る法令業務に従事しており、主に現行法令の改正要否や解釈の検討に取り組んでいます。時代の変化に即したより良い制度運用を考えていくことは一筋縄ではいかないこともありますが、同僚や上司と議論しながら方向性を決める過程は楽しく、日々やりがいを感じながら働いています。

○皆さんへのメッセージをお願いします。

国家公務員は、全ての業務ひとつひとつにおいて国のためになることを純粋に追求できる、唯一無二の職業です。各省庁の所掌業務は多岐にわたり、入省してから業務や研修で様々なことを学べます。知的好奇心に溢れる人文科学分野専攻のみなさんと一緒に働ける日を心待ちにしています。

政治・国際・人文区分 Q&A

Q1：なぜ「政治・国際・人文区分」への改編を行ったのですか。

A1：今回の改編は、幅広い専門分野の人材を確保する目的から、人文系の専攻者が自らの専門分野を選択して受験できる区分試験とするものです。行政の直面する課題がますます複雑化・高度化する中、各府省においても法律や経済といったこれまでの学問のみならず、哲学・歴史学・文学等といった人文系の専門分野を学んだ経験を有する行政官も重要な役割を担うことが期待されているものと考えています。

Q2：「政治・国際・人文区分」で国家公務員採用試験を受験する場合は、政治学など人文系以外の科目も勉強する必要がありますか。

A2：今回の「政治・国際・人文区分」への改編により、専門試験（多肢選択式・記述式）では人文系の問題を多く選択して受験することが可能になりました。一部、政治学や国際関係などといった政治・国際系の科目も解答していただきますが、行政官としての基礎的な知識を問うものです。

なお、専門試験の他に基礎能力試験もありますが、これは全区分の受験者が受験する知能問題や時事問題などが出題されるもので、専門的な知識を要するものではありません。

Q3：「政治・国際・人文区分」から採用された場合、人文系の知識を活かせる業務を担当できるのですか。

A3：実際に担当する業務は、各府省のミッションと人事配置によりませんが、各府省においては本人の能力・適性を考慮して担当する業務を決定しています。前のページには、大学時代に人文系の分野を専攻していた職員が現在行っている業務や経験談もありますので、是非参考にしてみてください。

また、各府省の説明会や人事院が行う府省合同の説明会等において、積極的に情報収集をすることも国家公務員の業務に理解を深めることとなりますので、奮ってご参加ください！

※院卒者試験の行政区分の人文系コースも同様の回答になります。



○国家公務員試験採用情報 NAVI
<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>



○国家公務員の紹介
<https://www.jinji.go.jp/saiyo/syokai/syokai.html>



※こちらのページに、国家公務員採用総合職試験のパンフレットも掲載しています。

【連絡先】

人事院人材局企画課 〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3

電話番号：03-3581-5311（内線2311）